

平成 30 年度 学校経営計画表

1 学校の現況

学校番号	9 0		学校名	総和工業高等学校			課 程		全日制		学校長名		張 貝 智 治			
教 頭 名	久 松 政 信											事務長名		鈴 木 恵 美 子		
教 職 員 数	教 諭	3 5	養 護 教 諭	1	常 勤 講 師	2	非 常 勤 講 師	1	実 習 教 諭 , 実 習 講 師 , 実 習 助 手	8	事 務 職 員	3	技 術 職 員 等	3	計	5 6
生 徒 数	小学科		1 年		2 年		3 年		4 年		合 計		合 計 ク ラ ス 数			
			男	女	男	女	男	女	男	女	男	女				
	機 械 科		8 0	0	7 7	0	6 7	0			2 2 4	0	6			
	電 子 機 械 科		4 0	0	3 0	1	3 5	2			1 0 5	3	3			
	電 気 科		3 7	4	3 2	1	2 2	0			9 1	5	3			

2 目指す学校像

教育活動全体を通して、人間性の涵養と生きる力を身に付けさせ、心身ともに健康で豊かな人間性を備えた生徒の育成を図り、ものづくり教育を基軸とした教育活動を通して、社会の形成者として必要な資質・能力の育成を期す。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

項 目	現 状 分 析	課 題
学習指導	基礎学力の不足や学習意欲に欠ける生徒もいるが、大学進学を目指し、積極的に学習に取り組む生徒もみられる。授業では、学力向上推進総合事業に伴い ICT 教育も取り入れ、これからの学習指導体制を模索している。 また、資格試験に積極的に取り組んでいる生徒も多い。	学力向上推進総合事業等を充実させ、ICT 教育の環境を整備し、教員の授業力向上を図る。また、生徒に学び直しの機会を与え、基礎学力の定着を図る。 また、資格試験に対する指導体制を充実させる。
生徒指導	挨拶のできる明るい生徒が多いが、規則やマナーに対しては意識が低く公共物を大切にする気持ちに欠ける生徒もみられる。 交通事故件数は減少傾向にあるが、交通マナーに関しては、大きな改善が見られない。安全教育と共に交通マナーの改善をさらに進めていく必要がある。	教育相談体制を充実させ、生徒一人一人にきめ細やかに接し、自己肯定感や自己有用感を高めさせることで、問題行動の未然防止・早期発見等に努める。また、自転車・原付バイク通学者の交通安全教育の充実を図る。
進路指導	ここ数年、就職希望者の内定率は100%を維持している。昨年度の進学に関しては大学進学者が14%、専門学校進学者が11%であり、大学進学者が増加した。引き続きキャリア教育の充実を図ると共に、進学・就職の両面に対応した面接・小論文等の指導を実施していく必要がある。	生徒の進路意識を向上させるため、1年次から計画的なキャリア教育を実施する。2、3年生に対してインターシップや企業実習を充実させ、職業観を育成する。 また、大学進学者への指導体制を整える。
特別活動	ホームルーム活動や学校行事には積極的に参加する生徒が多い。昨年度から特色選抜を取り入れ、部活動が活性化しつつある。部活動加入率は約50%代を維持している。 また、生徒会を中心として、募金などのボランティア活動を行っている。	1年次の早い段階に部活動加入を勧め加入率を上げ、生徒との望ましい人間関係を築くことで退部者を減らす。 また、ボランティアの参加の機会を増やし、生徒が自ら奉仕作業をすることで、人間形成の一助とする。

4 中期的目標

- 1 ひとりひとりを大事にした教育を実践し、基礎学力の定着と、「ものづくり」教育を基軸として、専門分野における基礎的な技術・技能を身に付けさせる。
- 2 教育活動全体を通して、人間性の涵養と望ましい生き方を指導し、生きる力を身に付けさせる。
- 3 キャリア教育の推進と社会の変化に対応できる能力を育成し、技術者としての誇りと自信を身に付けさせるとともに、社会の一員としての自覚を持たせる。
- 4 教育活動全体を通じた体育・スポーツ活動の振興を図り、知・徳・体のバランスのとれた生徒の育成を目指す。

5 本年度の重点目標

重 点 項 目	重 点 目 標
学習意欲を高める授業・実習の工夫改善	①授業規律の確立と基礎的・基本的な内容を重視し、確かな学力の定着を図る。 ②観点別評価を活かした学習活動に努め、授業・実習の工夫改善を図る。 ③ものづくり教育を推進させ、専門的な知識や技術の習得と、資格取得につなげる。
道徳教育の推進と基本的生活習慣の確立	④規範意識の高揚を図り、基本的生活習慣を身につけさせる。 ⑤道徳教育やいじめ防止対策推進体制を確立し問題行動等の未然防止に努める。 ⑥ルールやマナーの向上を図り交通事故防止に努める。
健康や体力を育み学校全体の活性化	⑦部活動やホームルーム活動等を充実させ、生徒の主体性を育む。 ⑧学校行事等を通して、生徒の自主性・自律心を育成し、学校全体の活性化を図る。 ⑨特別活動の充実を図り、体験的活動を通して自発的・自治的な態度の育成に努める。
社会の変化に対応した生きる力の育成	⑩キャリア教育を推進し、勤労観・職業観の育成を図り、進路希望の実現を目指す。 ⑪企業体験学習や進学支援を充実させ、主体的に進路選択ができるようにする。 ⑫校内環境の美化に努め、よりよい生活環境の創造のための実践的な態度を育成する。
P T A活動の活性化と地域社会との連携	⑬P T A活動の活性化のため、保護者との連携と行事の工夫改善を推進する。 ⑭地域イベントやボランティア等に積極的に参加し、本校の特色をアピールする。 ⑮防災力推進の観点から、ものづくりを活かし地域社会との連携を推進する。